

通常のインターンシップと違い、学内企業実習は、企業の方が講師として大学に出向き、学生は1日社員としてグループワークを行います。

学生は企業から与えられた課題を学科・学年混在の少人数グループで考え、アイデアをまとめて解決策を見つけ、社会に出た後も活躍し続けられるための能力を身に付けることを目的として行います。

学生はこの活動をポートフォリオに入力することで、実施前と実施後でどのように意識が変わったかをいつでも振り返ることができるようにしています。

■実施日時：2014年9月11日(木) 1限～5限

■参加者：72名

	機械	情報	環境	建築	学年計
1年生	4	13	8	10	35
2年生	2	6	5	-	13
3年生	4	7	1	-	12
4年生	5	4	-	3	12
学科計	15	30	14	13	72

■参加企業とグループ編成(学科・学年混在)

- ①株式会社北村製作所
グループ:1、4、6(8名、8名、8名)
- ②株式会社コロナ
グループ:2、7、9(8名、8名、8名)
- ③一正蒲鉾株式会社
グループ:3、5、8(8名、8名、8名)

■スケジュール

- 9:30 開会、全体ガイダンス
- 10:00 グループワークⅠ～Ⅲ
(企業紹介、課題説明、課題検討、まとめ、発表準備)
- 15:00 企業別発表(企業毎に発表、優秀グループ1つ選定、講評)
- 16:00 全体発表(企業毎の優秀グループによる成果発表、講評)
- 17:30 閉会

■全体発表

3コースの中から各1グループが優秀グループとして全体発表を行い、企業講師の先生からご講評をいただき、その後、優秀グループの表彰を行いました。

①北村製作所株式会社コース



②株式会社コロナコース



③一正蒲鉾株式会社コース



◆優秀グループ表彰



【学生の感想】

- ・3年生だったが進んでリーダーをした。明るく、やりやすいメンバーだった。リーダーの経験は糧になると思う。
- ・こういう場はすごく苦手で嫌いだ、1回2回と回数を重ねていくことに少しでも慣れることが出来たので、参加して良かった。
- ・今回で3回目だったが、内容が今まで以上に難しく、グループワークの大切さを今回一番感じた。こんな本格的な職場の計画書の立ち上げ携われたことはとても良い経験になったので、この経験を活かして将来の自分を見据えていきたいと思う。

【企業講師からの講評】

- ・非常にチームワークが良く、和気あいあいと自由に意見を出し合っていた。優秀グループは前準備がしっかり出来ていたという点も結果につながったのではないと思う。
- ・将来のことについて、なかなか考えたことがないということで苦労していたグループもあったが、よく考えてもらったと思う。アイデア自体は甲乙つけがたいものがあった。
- ・弊社のロボット導入案件を学生にぶつけて、学生のやわらかい発想力を参考にしたいと思った。反転や落下式というのは、実際メーカーであるもので、学生はそこまで知らずに考えたと思うので、そういう発想が出ることで自分が素晴らしかった。

■グループワーク

①株式会社北村製作所コース

未来のトラック物流を考えた時に、必要とされる配送車(トラック)

「あなたが考える未来の社会はどうか?」また、「その未来の社会に必要な配送車(トラック)はどんな車両か?」を自由な発想で未来の社会状況に必要な(便利な)配送車(トラック)を考える。



②株式会社コロナコース

モノづくりの魅力や製造メーカーで働くことの面白さを、やりがいを伝えるための入社案内

就職を考えている学生に向けての、入社案内を企画・制作する。製造メーカーで働くことの面白さ、モノづくりの魅力、様々な仕事のやりがい等を伝えることで、興味関心を持ってもらう。



③一正蒲鉾株式会社コース

商品生産ラインの省人化の検討/コストを抑えた省人化

「コストを抑えた省人化」というのは、良いアイデア、モータやシリンダ、使用検討に制限は設けないので、治具など業員四名で商品トレーを置き、人手投入を省人化する。目標とした検討案を考える。

